



JPI催しのご案内

2022
3

公益社団法人日本包装技術協会

— 2021年度より本催しの名称が変わります —

2021年度より本催し（研究会）の名称をJPIWEBフォーラムとさせていただきます。
2021年度につきましては、ウェビナー（WEBセミナー）で皆様に情報発信を致します。

●開催要領

日時 ① 令和4年3月3日(木) 14:00～15:00 / ② 令和4年3月4日(金) 15:00～16:30
③ 令和4年3月16日(水) 10:00～12:00 / ④ 令和4年3月18日(金) 10:00～11:30
⑤ 令和4年3月28日(月) 14:00～16:00

参加費 JPI法人・個人会員：無料 / 一般：11,000円(1部会、税込) **定員** 300名

① 3月3日(木) 14:00～15:00 西日本支部主催**【テーマ】お客様へ製品を大切にお渡しするための活動について**

どんなに製品が価値あるものであっても輸送途上で破損してしまい、お客様のもとに無事にお届けできないのでは意味がありません。

輸送途上には、振動や衝撃、圧縮などの外力が存在し、一般的に包装の役割はそれらから製品を保護することにあります。包装は過剰だと無駄な資源を浪費していることになり、不足であれば破損に繋がるため、常にバランスが求められます。したがって、最小限の材料でいかに品質を担保するのかという取り組みが求められます。

今回は、輸送ストレスの把握による要求仕様の見直しと、包装設計の改善事例、および設計検証の取り組みについて報告する。

【講師】 TOTO株式会社 技術本部 もの創り統括部 技術統括グループ・主任技師

桐野 賢太郎 氏

申込要領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までをお願いします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関する資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用してのオンライン講演会（ウェビナー）になります。
- 申し込みは当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページより登録いただくようお願いします。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>

JAPAN PACKAGING INSTITUTE**◆裏面にもウェビナーのご案内がございます◆**

② 3月4日(金) 15:00~16:30 JPI中部支部主催

【テーマ】プラスチックに関する欧州及び国内の新たなルール等の動向

近年、欧州を中心に世界中でプラスチックに関する新たなルール作りが矢継ぎ早に進められつつあり、日本においても、2022年4月よりプラスチック資源循環法の施行が始まる等、プラスチックとの付き合い方が大きく変わろうとしている。国内市場を見ると、バイオプラスチックの普及拡大に向けた取組が進められつつあり、2021年からはマスバランス方式のバイオマスプラスチックの上市が始まっている。容器・包装等のプラスチックを扱う企業においては、これまで以上にこれらの動向を把握したうえで商品戦略等を考えていくことが求められる。

本講演では、欧州各国及び日本におけるプラスチックに関する施策・規制やバイオプラスチックに関する動向について、最新の情報を提供する。

【講師】三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部 環境・エネルギーユニット 地球環境部 主任研究員 植田 洋行氏
【講師】三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部 環境・エネルギーユニット 地球環境部 副主任研究員 仲嶋 翼氏
【講師】三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部 環境・エネルギーユニット 地球環境部 研究員 小川 結氏

③ 3月16日(水) 10:00~12:00 JPI関西支部主催

【テーマ】パッケージデザインにおける色の重要性～カラーイメージの定量化と活用～

商品の色を検討する際、「なぜその色にするのか」と迷うことも多いのではないのでしょうか。特に食品・飲料などでは、味覚の表現や審美性だけでなく、定量調査に基づき導いた、コンセプトやターゲット特性を捉えた適切な色を活用することが有効と考えられます。本フォーラムでは、パッケージにおける色の重要性を踏まえ、DICが開発したカラーイメージの定量的な調査手法とその展開例をご紹介します。

【講師】DICカラーデザイン(株) 企画制作本部 後藤 史子氏

④ 3月18日(金) 10:00~11:30 JPI関西支部主催

【テーマ】三井化学グループの環境対応包材

三井化学は、気候変動および廃プラの両問題を見据えながら、循環経済実現への貢献を目指しています。本講演では、三井化学グループの包材分野における環境対応取り組みの概要をお示しし、具体的なソリューションとして、Film-to-Filmの水平マテリアルリサイクルを目指す「RePLAYER®」に加え、モノマテリアル包材、高機能紙包材、バイオマス製品を紹介いたします。

【講師】三井化学(株) フード&パッケージング事業本部 企画管理部 F&P-CoE推進グループリーダー(統括) 三春 憲治氏

⑤ 3月28日(月) 14:00~16:00 JPI本部主催

【テーマ】現場起点のDXにより変化するものづくり ～e-F@ctoryが実現するスマート工場～

昨今、コロナ禍による新しい日常や、働き方改革の実現など、世の中は大きな変化点を迎えております。ものづくりの現場においても同様のことが言えます。

三菱電機のe-F@ctoryはものづくりの現場における変化に柔軟に対応し、お客様の課題解決に向けたソリューションを提案いたします。

本講演では、三菱電機の技術力、製品力を活かした現場起点のDXの概要と効果を、事例を交えてご紹介いたします。

【講師】三菱電機株式会社 名古屋製作所 FAソリューションシステム部 技術推進グループ 専任 増田 芳樹氏

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用してのオンライン講演会(ウェビナー)になります。
- ・申し込みは当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページより登録いただくようお願いします。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ませんのでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>